

# 平成25年1月 東京地区百貨店売上高概況

平成25年2月19日

## I. 概況

1. 売上高総額	1,317億円余
2. 前年同月比	0.5% (店舗数調整後/2か月ぶりプラス)
3. 店頭・非店頭の増減	店頭0.1%(91.1%) : 非店頭4.5%(8.9%) ( )内は店頭・非店頭の構成比
4. 調査対象百貨店	13社 26店 (平成24年12月対比±0店)
5. 総店舗面積	918,588㎡ (前年同月比:0.3%)
6. 総従業員数	18,756人 (前年同月比:-0.5%)
7. 3か月移動平均値	6-8月 -0.4%、7-9月 -0.2%、8-10月 -0.3%、 9-11月 0.9%、10-12月 0.1%、11-1月 0.7%

[参考] 平成24年1月の売上高増減率は-3.1% (店舗数調整後)

### 【1月売上の特徴】

- (1) 東京地区の入店客数は連休中の積雪で大きな影響を受けた結果、平均して前年比3%~4%の減少となった。一方、防寒・防水需要の高まりからブーツを含むレインシューズが大きな伸びを示すなどの特需も出ている。
- (2) 都内では、全国水準以上に高額商材が活況で、美術・宝飾・貴金属が前年比+11.4%と二桁の伸びを示した。特に高級時計については、多くの店で二桁増を記録した。
- (3) 食料品についても前年比+1.5%と好調に推移したが、この背景としては、各店で積極展開した地方物産展などの食品催事が盛況だったことも要因となっている。
- (4) 都内各店のバレンタイン商戦は、女性同士でギフト交換する「友チョコ」が浸透するなど新たな動きもあり、概ね前年比5%程度の伸びで推移した。
- (5) 2月中旬までの東京地区の商況は、平均して4%~5%増で推移している。

### 【要因】

- (1) 営業日数増減 30.1日 (前年同月比+0.1日)
- (2) 入店客数増減 (回答店舗数で見る傾向値/前年同月比/有効回答数20店舗)  
①増加した:2店、②変化なし:7店、③減少した:11店
- (3) 1月歳時記 (初売り、冬的全館セール、成人の日)の売上 (同上/有効回答数16店舗)  
①増加した:4店、②変化なし:5店、③減少した:7店
- (4) 翌月売上見通し (回答店舗数で見る傾向値/有効回答数20店舗)  
①増加する:3店、②変化なし:11店、③減少する:4店、④不明:2店

## 東京地区百貨店 売上高速報 2013年01月

※店舗数調整後 ( )が調整前

	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率 (%) ※
<b>総 額</b>	<b>131,799,636</b>	<b>100.0</b>	<b>0.5 ( -0.2)</b>
紳士服・洋品	13,146,423	10.0	-2.3
婦人服・洋品	33,176,325	25.2	-2.5 ( -3.0)
子供服・洋品	2,653,006	2.0	-2.1
その他衣料品	2,850,850	2.2	5.4
<b>衣 料 品</b>	<b>51,826,604</b>	<b>39.3</b>	<b>-2.0 ( -2.3)</b>
<b>身のまわり品</b>	<b>18,280,531</b>	<b>13.9</b>	<b>7.4 ( 4.6)</b>
化粧品	6,047,703	4.6	1.0
美術・宝飾・貴金属	5,979,054	4.5	11.4
その他雑貨	6,329,952	4.8	-5.3
<b>雑 貨</b>	<b>18,356,709</b>	<b>13.9</b>	<b>1.8</b>
家具	1,850,994	1.4	-1.5
家電	777,527	0.6	7.1
その他家庭用品	4,458,345	3.4	-5.2 ( -6.2)
<b>家 庭 用 品</b>	<b>7,086,866</b>	<b>5.4</b>	<b>-3.0 ( -3.7)</b>
生鮮食品	4,688,785	3.6	3.1
菓子	7,713,016	5.9	1.8
惣菜	6,694,972	5.1	2.0
その他食料品	9,212,581	7.0	0.1 ( -0.9)
<b>食 料 品</b>	<b>28,309,354</b>	<b>21.5</b>	<b>1.5 ( 1.2)</b>
<b>食堂 喫茶</b>	<b>3,140,531</b>	<b>2.4</b>	<b>0.2 ( -0.9)</b>
<b>サ ー ビ ス</b>	<b>1,957,437</b>	<b>1.5</b>	<b>-1.7</b>
<b>そ の 他</b>	<b>2,841,604</b>	<b>2.2</b>	<b>-1.2 ( -5.6)</b>

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。

本統計には消費税は含まれておりません。

対前年増減(-)率 (%)

※

商品券	2,309,494 千円	-16.8 ( -17.0)
従業員数	18,756 人	-0.5
店舗面積	918,588 m <sup>2</sup>	0.3

営業日数	30.1 日	前年	30.0 日
------	--------	----	--------

## Ⅱ. 商品別の動き

主要5品目では、身のまわり品が3か月連続、雑貨が4か月ぶり、食料品が2か月ぶりのプラス。衣料品が2か月連続、家庭用品が3か月連続のマイナスとなった。また、化粧品が6か月連続、家電が2か月連続、惣菜が18か月連続のプラス、その他衣料品、美術・宝飾・貴金属、生鮮食品、菓子、その他食料品が2か月ぶりのプラスとなった。

### 【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比	寄与度	トレンド
<b>総額</b>	<b>0.5</b>	<b>—</b>	<b>2か月ぶりプラス</b>
紳士服・洋品	-2.3	-0.2	2か月連続マイナス
婦人服・洋品	-2.5	-0.7	2か月連続マイナス
子供服・洋品	-2.1	0.0	2か月連続マイナス
その他衣料品	5.4	0.1	2か月ぶりプラス
<b>衣料品</b>	<b>-2.0</b>	<b>-0.8</b>	<b>2か月連続マイナス</b>
<b>身のまわり品</b>	<b>7.4</b>	<b>1.0</b>	<b>3か月連続プラス</b>
化粧品	1.0	0.0	6か月連続プラス*
美術・宝飾・貴金属	11.4	0.5	2か月ぶりプラス*
その他雑貨	-5.3	-0.3	9か月連続マイナス*
<b>雑貨</b>	<b>1.8</b>	<b>0.2</b>	<b>4か月ぶりプラス</b>
家具	-1.5	0.0	4か月連続マイナス
家電	7.1	0.0	2か月連続プラス
その他家庭用品	-5.2	-0.2	9か月連続マイナス
<b>家庭用品</b>	<b>-3.0</b>	<b>-0.2</b>	<b>3か月連続マイナス</b>
生鮮食品	3.1	0.1	2か月ぶりプラス*
菓子	1.8	0.1	2か月ぶりプラス*
惣菜	2.0	0.1	18か月連続プラス*
その他食料品	0.1	0.0	2か月ぶりプラス*
<b>食料品</b>	<b>1.5</b>	<b>0.3</b>	<b>2か月ぶりプラス</b>
<b>食堂喫茶</b>	<b>0.2</b>	<b>0.0</b>	<b>3か月連続プラス</b>
<b>サービス</b>	<b>-1.7</b>	<b>0.0</b>	<b>2か月連続マイナス</b>
<b>その他</b>	<b>-1.2</b>	<b>0.0</b>	<b>9か月連続マイナス</b>
<b>商品券</b>	<b>-16.8</b>	<b>-0.4</b>	<b>21か月連続マイナス</b>

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化した。

お問い合わせは、日本百貨店協会 森・佐藤・西田まで  
 TEL 03-3272-1666 ホームページアドレス <http://www.depart.or.jp>